

つなぐ

令和2年6月12日発行
笠間市教育委員会生涯学習課

あなたが伝える笠間の民話



「令和2年度学校支援ボランティア養成講座」を開講する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために講座が中止となりました。

講座は中止となりましたが、今年度も笠間志学の授業における「民話の語り」にできるだけ対応したいと考えておりますので、よろしくをお願いします。

友部小 寺内校長先生

ボランティアの皆様の民話の語りに1年生児童は目を輝かせて聞き入っていました。特に今回は、友部小の今昔についてのお話もあり、興味が一層深まったようです。郷土の未来を創る子供たちに、過去・現在・未来をつないで、郷土愛を育むことは大変重要なことです。皆様のご支援に感謝申し上げます。

社会教育指導員 書岡先生

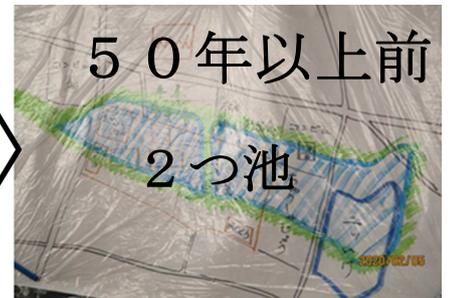
地域にお住いで希望する方々が、昔から地元で伝わる笠間の民話を通して、先人の願いや由来を学んでいます。学校では小学校1年生が笠間市に伝わる民話の学習をしています。そのお手伝いをさせていただいて3年目になりました。今年も各学校からの要請があればお手伝いをさせていただきます。

友小近くの「2つ池」について

民話の語りでは、昔の地域の様子なども紹介しています。

友部小学校は、明治34年に宍戸尋常小学校分教場として友部駅前に開校しました。2つ池の一部を埋め立て、昭和48年に現在の友部小に移転しました。

50年以上前の2つ池は、現在の友部の校庭より広がったようです。



クイズ

笠間市で国の天然記念物に指定され、茨城県が太平洋側での生息北限といわれている昆虫の名前は何でしょう。※笠間の民話にも登場しています。

- ①ヒメハルガエル ②ヒメハルトンボ ③ヒメハルゼミ ④ヒメハルアリ

昨年度の様子



受講生の感想

梅原 尚美さん

笠間の民話は、現在この地に住んでいる私たちにとっての宝物だと思います。それを語り伝える機会をいただき感謝しています。聞いてくださる小学1年生が、自分たちの身近な場所でその物語が存在していたことを知り、いろんな気づきを得て、成長の糧としていただければ嬉しいです。

根本 美弥子さん

民話を通して、児童の皆さんと出逢えた事に感謝です。皆さんの目と表情を見ながら民話を伝えました。喜怒哀楽の要素が入った話に一喜一憂。民話には生きる知恵・優しさ・しつけ等の先人の思いが沢山入っており、耳を通して伝える民話は宝物！！私自身も多くの学びがあり感謝致します。

安見 迪生さん 安見 珠子さん

「片庭のヒメハルゼミ」と「雨ふり桜」について、生物学的な調査研究をし、写真や録音テープなどのデータを持っていたので、お役に立てればとの思いで参加いたしました。熱心に聞いてくれる児童の姿を見て、この事業に参加させていただき良かったと思いました。

川崎 史子さん

昨年、岩間の小学校へお伺いし、子どもたちの「わあ～怖い」「えー。本当～」と、あのリアルな反応に私たちは「やればできる」と勇気と元気をもらいました。当日ちょっと緊張してうまく語れなかったことや、仲間と支え合って切り抜けられたことを忘れられません。「子どもたちに地元の民話を伝えたい」「あの笑顔にもう一度会いたい」コロナ感染自粛の中、今一番の願いです。「継続は力なり」20年後、30年後この子どもたちが地元へ戻って民話を語ってくれる優しい大人に育ってくれることを願いつつ……。

③ヒメハルゼミ

ヒメハルゼミは、笠間市片庭の楞厳寺（りょうごんじ）と八幡神社境内に生息するセミです。地元では、大蟬（おおぜみ）と呼んでいますが、体はとても小さく、雄は体長約2.4cmくらい、雌は細長い産卵管があって約2.7cmくらいです。

正解

【お問合せ先】 笠間市教育委員会生涯学習課 担当 三澤
〒309-1792 笠間市中央 3-2-1
TEL 0296-77-1101 FAX 0296-71-3220

